

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 令和1年7月18日

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原市文化会館
指定管理者の名称	公益財団法人 相模原市民文化財団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
施設設置条例の名称	相模原市立文化会館条例
施設の設置目的	市民が芸術文化を鑑賞し、及び文化活動を行う場を提供し、もって文化の香りあふれる都市の創造に寄与するため(相模原市立文化会館条例第2条)
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地 相模原市南区相模大野4-4-1 ・敷地面積 9,842.90㎡ ・延床面積 文化会館14,725.99㎡ 図書館3,723.92㎡ メディカルセンター3,787.82㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 ・主な施設 1～4階 大ホール(1,790席または1,240席として利用可) 2階 多目的ホール(可変床 移動席240席) 地下1階 リハーサル室、練習室
施設所管課の名称	文化振興課

2 管理実績							
項目(単位)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数合計(人)	370,917	402,096	392,911	386,284	373,258	406,150	392,254
利用料金合計(円)	130,079,522	126,745,632	129,527,760	121,161,193	125,858,061	150,521,696	146,697,084
大ホール貸館率(%)	90.9	94.8	91.6	86.5	88.4	87.8	91.8
多目的ホール貸館率(%)	90.4	90.4	94.0	90.5	96.1	88.5	87.4
リハーサル室等貸館率(%)	95.3	95.4	96.7	96.0	96.8	95.4	94.3
大ホール入場者数(人)	293,506	324,771	314,556	301,960	294,558	327,776	318,456

3 成果指標の達成度	
指標名(%)	大ホール及び多目的ホールの平均利用率
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、(利用日数・利用可能日数)にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(%)			91.5	91.5	91.5	91.5	91.5
実績値(%)	90.7	92.6	92.8	88.5	92.3	88.2	89.6
達成度(%)			101.4	96.7	100.9	96.4	97.9

指標名(人)	自主文化事業の入場者数
指標式と指標の説明	施設において、多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供することにより、文化を身近に感じる環境づくりが推進されるため、指定管理者が自主的に行う文化事業の入場者数を成果指標とする。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(人)			36,755	37,525	38,290	39,060	39,825
実績値(人)	35,359	45,025	50,308	52,586	55,551	94,126	60,313
達成度(%)			136.9	140.1	145.1	241.0	151.4

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価

指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	S	成果指標については、相模原市文化会館(大ホール及び多目的ホール)と相模原南市民ホールと小田急相模原駅文化交流プラザ(多目的ルーム)の平均利用率は88.6%で達成度96.3%、自主文化事業の入場者数は62,361人で達成度150.3%である。ホールの平均利用率は目標値を上回らなかったが、自主文化事業の入場者数は目標値を超えていた。
事業・業務の履行状況	S	施設の設置目的や役割について十分理解しており、相模原市文化会館では大規模なクラシックや歌舞伎、ミュージカル、演劇、相模原南市民ホールでは朗読劇や歌舞伎セミナーのほか新規事業の音楽家連盟コンサート、小田急相模原駅文化交流プラザで人形劇や俳優講座を行っている。また、グルーピングを意識し歌舞伎セミナーや地域と連携した事業を展開した。
利用者満足度の向上度	A	施設利用者アンケート結果及び事業アンケート結果に基づき、利用者の満足度を検証した。 施設利用者アンケートではアンケート項目の総回答件数(1,607件)のうち96.5%が「よい」又は「ふつう」と回答し、達成度は107.2%であった。また、事業アンケートも総回答件数(3,241件)のうち、98.3%が「満足」又は「ほぼ満足」と回答し、達成度109.2%であり、施設利用者アンケート、事業アンケートがともに目標値90%を超えていた。
財務状況の適正性	A	平成30年度決算において本社等からの繰り入れは行っておらず、本体の経営状況に特段の課題は見られない。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準
 モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。
 S:当該年度の達成度が110%以上
 A:当該年度の達成度が100%以上110%未満
 B:当該年度の達成度が90%以上100%未満
 C:当該年度の達成度が80%以上90%未満
 D:当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準
 モニタリング基礎シート(様式1)における「評価」の内容について、次の基準により評価する。
 S:全ての評価項目に「 」または「 」が付き、「 」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
 A:全ての評価項目に「 」または「 」付き、「 」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
 B:全ての評価項目が「 」である。
 C:「 」と「 」のどちらもつかない項目が1つある。
 D:「 」と「 」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準
 モニタリング基礎シート(様式2)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。
 S:当該年度の達成度が110%以上
 A:当該年度の達成度が100%以上110%未満
 B:当該年度の達成度が90%以上100%未満
 C:当該年度の達成度が80%以上90%未満
 D:当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準
 モニタリング基礎シート(様式3)における「3 指定管理者の団体本体の経営状況」の内容について、次の基準により評価する。
 S:評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 A:評価対象年度の決算において、本社等からの繰り入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 B:評価対象年度の決算において、本社等からの繰り入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 C:評価対象年度の決算において、本社等から繰り入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
 D:評価対象年度の決算において、本社等から繰り入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>・各施設管理受託時から蓄積している業務ノウハウを活かし、事業計画書に基づき、良好な運営を行った。自主文化事業については、クラシック、演劇、伝統芸能など幅広く質の高い事業や、市民団体の支援や近隣大学との連携事業、グループ内の施設間での連携事業を継続して実施した。自主文化事業の入場者数も多く、多彩な芸術振興活動により相模原の文化を牽引した。</p> <p>・5年間を通じて規定回数を大きく上回る自主事業を実施して多くの市民に文化に触れる機会を提供し、また市外からも鑑賞に訪れるような質の高い事業の実施により市のシティセールスにも貢献してきた。施設利用者のアンケートでも高い満足度も得ており、利用者の声を丁寧に聞き、可能な限り反映してきた結果と考える。</p>
------	---

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	7月18日
コメント	<p>・施設管理において豊富な経験と実績を有しており、安定した運営が行われた。利用率が目標値に達していない施設もあるものの、概ね高い貸館率を維持するとともに、施設利用者アンケートでも良好な結果を得ており、利用者の声を取り入れながら適正な施設の管理運営が実施された。</p> <p>・この5年間で取り組んできた事業の成果として、文化会館での日フィル公演を中心に各施設でバランスよく質の高い事業を実施し、潜在的なクラシックファンの掘り起こしを行い文化への関心を高めたことや、演劇ワークショップ参加者が自主的にサークルを立ち上げるなど市民が自ら参加する新しい文化活動がはじまるなど成果をあげており、相模原の持続的な市民文化の活性化を牽引した。</p> <p>・文化会館は、相模原市を代表する文化施設としての役割を十分に果たしており、3館ともに施設特性を活かした運営がなされた。</p>